

静岡市小島児童クラブ 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和4年3月23日(水)

静岡市の小島児童クラブが来所しました。退会する子供たちとの思い出作りのために、小学1年生から6年生までの15人が勾玉作り体験を行いました。

勾玉作り

はじめに、埋蔵文化財センターの業務について簡単に説明し、その後勾玉について話しました。

勾玉が、古墳から出土していることや、形が日本独特であること、権力者がつけていたことなどの説明を興味深く聞き、納得している様子でした。次に、スクリーンの画面と説明書を見ながら勾玉作りの工程を覚えていきました。

いよいよ、勾玉作りのキットの袋を開けて、紙やすり3種とひも、滑石が入っていることを確認して、滑石を一番粗い紙やすりで削っていきます。



勾玉の話をしました。

指導員の先生方も作ったり、手伝ったりしました！



勾玉の形を作るのが大変でした。



大まかな形ができたところで、2番目の紙やすりで形を整えていきました。

自分の思った形ができたなら、最後に3番目の細かい紙やすりに水をつけて表面がつるつるになるまで磨いていきました。

表面の傷がなくなったら、色を着けました。何色にするか迷ったり、虹色にしようと考え

たりして、楽しそうでした。ワックスを塗ってつやを出し、穴にひもを通して出来上がり。ひもの長さを変えられる結び方は難しいので、やってあげました。

終わりの会では、代表で6年生に感想を発表してもらいました。「思った以上にうまくできた。」「大変楽しかった。」と言っていました。地元の小島児童クラブに戻っても、勾玉を首に提げて大切にしていたようです。



マーカーペンで色を着けました。



とっても
楽しかった
よ！